

## ひょうご事業改善レビューシート

様式1

レビュー項目 (事業名)	SNS等を活用した感染症検査受付による利便性向上 (肝炎・エイズ・梅毒相談検査事業)				部(局)	保健医療部感染症等対策室				
					所管課	感染症対策課				
					担当班	感染症班				
					連絡先	078-362-3264(内線3196)				
開始年度	平成5年度	終了年度	—	関連計画等	感染症予防計画					
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( ) 実施主体等 県(健康福祉事務所)									
事業目的	<p>HIV感染者の届出については全国的に減少～横ばい傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症に伴う検査機会の減少等の影響で検査件数が減少しており、感染者のスクリーニングが十分にできていない可能性が指摘されている。</p> <p>本県のエイズ患者・HIV感染者は平成25年の53人をピークに減少傾向が見られていたものの、全国同様、30から40人程で推移した横ばい状況にある。また、梅毒については、県、全国でも患者届出数が右肩上がりとなっており、特に発生動向に注視が必要な状況である。</p> <p>このため、HIV、肝炎ウイルスや梅毒の感染を早期発見し、早期治療につなげることで感染拡大の防止に有効であることから、県民が当該検査を受けやすい体制をつくる。</p>									
事業概要	県下、12健康福祉事務所において、エイズ、肝炎、梅毒の感染を心配する県民に対し、相談及び感染の有無を判別する無料匿名検査を実施。(証明書の交付を希望する者は、記名有料)									
これまでの改善状況	<p>(1) 兵庫県エイズ予防月間(6月)や世界エイズデー(12月)の普及啓発の強化及び休日、夜間検査の実施</p> <p>(2) エイズ検査陽性者に対するカウンセラーの派遣(平成20年度～)</p>									
業務フロー	<p>①感染の不安を抱える県民→②電話相談→③検査予約→④検査→⑤陰性→⑥保健指導</p> <p>↳③不安解消 ↳⑤陽性→⑥カウンセリング→医療機関紹介(エイズのみ)</p>									
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		921 千円		823 千円		888 千円		831 千円	
	経費内訳	報酬・賃金								
		委託料	152 千円		122 千円		305 千円		304 千円	
		補助金・交付金								
		貸付金								
		その他	769 千円		701 千円		583 千円		527 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(419千円)		(408千円)		(418千円)		(390千円)	
		(特定)	(83千円)		(6千円)		(51千円)		(51千円)	
		(起債)								
		(一般財源)	(419千円)		(409千円)		(419千円)		(390千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		1,305 千円		1,110 千円		888 千円		831 千円	
	執行率((①/②)×100)		70.6%		74.1%		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	1.2人	従事人員	1.2人	従事人員	1.2人	従事人員	1.2人
		8,297 千円		8,225 千円		8,619 千円		8,619 千円		
職員給与費	a	7,188 千円		7,102 千円		7,510 千円		7,496 千円		
賞与引当金繰入額	b	580 千円		572 千円		580 千円		572 千円		
退職手当引当金繰入額	c	529 千円		551 千円		529 千円		551 千円		
総コスト(①+③)		9,218 千円		9,048 千円		9,507 千円		9,450 千円		

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	価値	成果指標(アウトカム指標①) 「いきなりエイズ率(%)」 =AIDS新規報告数÷ (AIDS新規報告数+HIV新規報告数) ☆コロナ影響もあるため、当面、全国平均値以下とし、2030年度20%以下を目標。	目標	30.8	30.7	28.5	※
実績(見込)			34.9	25.8	(29.2)	※	
(単位当たりコスト)			(264千円)	(351千円)	(326千円)		
達成率(見込)			113.3%	84.0%	(102.5%)		
成果指標(アウトカム指標②)		目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
成果指標(アウトカム指標③)		目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
指標	活動指標(アウトプット指標①) 「検査実施率(%)」 =検査実績÷検査可能件数	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	80%以上 【令和8年度】
		実績(見込)	46.5	35.3	(47.9)	※	
		(単位当たりコスト)	(198千円)	(256千円)	(198千円)		
		達成率(見込)	77.5%	58.8%	(79.8%)		
	活動指標(アウトプット指標②)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
目標	終期設定	有 ( ) ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況(総合的評価)		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		・コロナ禍での検査数減に伴い、今後、いきなりエイズ患者の増加も危惧されること、梅毒の患者届出数が増加傾向にあることから、無料検査の継続が必要。		・健康福祉事務所では、新型コロナウイルス感染症患者対応も並行で行っており、R2～R4年度は事業を一部縮小せざるを得ない場合もあった。		
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		・若者をターゲットとしたICTの活用が必要 ・オンラインを活用した相談や予約方法の強化が必要				
課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他							
外部委員会意見	説明 ( 従来の電話相談に加え、若者が受検しやすいSNS等(スマホ利用)による検査予約等ができる環境を検討 )						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS上でのログは全て残るので、若い世代はSNSから申込みはしないのではないか。電話での窓口を残すことは重要である。</li> <li>・プロモーションはSNS上で行うなど、想定するターゲットに合った手法を検討すべき。</li> <li>・検査実施率はアウトカム指標とすべき。</li> <li>・検査実施率を高めるために何が有効かをアンケート調査してはどうか。例えば、アンケート調査で検査に来た理由としてSNSを選択した割合をアウトカム指標としてはどうか。</li> </ul>						
改善結果							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たにスマホ等で予約できるオンライン申込サイトを立ち上げ、高齢者等にもやさしい従来の電話予約も併用</li> <li>・世界エイズデー等、啓発効果が期待出来る時期に、検索サイト利用者など、ターゲットを絞ったインターネット広告を実施</li> <li>・オンライン申込の迅速性を活用し、予約状況の見える化やアンケートの集計結果など、積極的に県SNSで情報発信</li> </ul>							